

(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	子どもが主役の地域を創る キッズレポリューション		
申請大学・高校等名	大学及び 高校等名	関西国際大学	
	活動 グループ名	福祉学専攻インターンシップ	参加学生 等人数 26人
指導責任者名 及び連絡先	学部・学科等 名称	教育学部教育福祉学科	
	責任者氏名	大平 誠也	連絡先 電話番号
	E-mail		
協働する市民活動団 体及び代表者名	団体名	尼崎市小田のマナビヤ実行委員会	
	代表者氏名	井口 廣子	連絡先 電話番号
	E-mail		
教育・研究活動 目標	現代の育児の困難さは、家庭という閉じられた場で、親の手だけで子どもを育てなければならなくなっていることだと言われています。子育てをする親の孤立感や子育てに係る負担感の軽減を図り、安心して子育てができる環境をつくる必要があります。きめ細やかな子育て支援を行うためには、関係する諸機関がネットワークを構築して、その持てる力を結集する必要があります。我々の連携事業体が目指すのは、親が安心して子育てができる環境にいることによる安心感を抱いていただくことです。そのためには、地域全体が子育て世代を応援していることを示さなくてはなりません。子育て支援に関わる行政機関(地域振興センター)、社会福祉協議会、大学が連携協力し、身体活動を伴う遊びという具体的な活動を通して安心感を提供します。		
活動内容及び 実績、評価	<p>(活動内容及び実績)</p> <p>2020年11月～2021年1月にかけてはコロナ禍の状況を踏まえ、手遊び等の動画を作成することで、子育て支援を行った。 (動画 URL)https://www.youtube.com/watch?v=n2L70QFJWb8</p> <p>2021年2～3月には、尼崎市小田のマナビヤ実行委員会、地域振興センターと協力し、3月5日(金)にはエフエムあまがさき「みんなのあまがさき情報局」『おだらぶ』というコーナーに出演し、活動紹介を行った。 また、3月28日(日)に遊びを中核としたイベントを実施した。期間限定ではあるが、小田地域振興センターの廊下壁面装飾というサプライズな依頼にも応じることができた。</p>   <p>(評価)</p> <p>・動画については、限定的な公開としたが一定数のアクセスを得ることができた。動画公開は初めての経験であったため、今後は視聴者の需要を調査したうえで作成していきたい。アクセス数という量的な側面に加えて、見やすさ、内容理解のしやすさなど質的な側面についての検討が必要で、課題が残された。また、動画公開を行う上でのルールにつ</p>		

いても検討を行い、個人情報や著作権についても意識ができた。このことは、情報化社会において、自分や子どもたちを守るうえで大変重要である。

・私たち学生が参加することを地域団体の皆様が好意的に受け止めてくださり、活動しやすいよう様々な配慮をしてくださった。活動場所の提供、広報活動支援など様々な側面からの援助があり、恵まれた環境であることが理解できた。

・大学と尼崎市が連携協定していることは認識していたが、具体的に身体活動を伴う遊びで貢献できるということを知ることができた。大学で学んだ知識や技能を地域のイベントという具体的な形で表現でき、社会的有用感を感じることができた。施設長の方から、イベント企画及び施設の提供を提案していただいた。

・地域の保護者の皆さん(参加者)が、私たち学生の活動に期待を寄せてくださっていることを「次はいつ」「また来るね」という言葉で感じることができた。何よりも参加してくれた子どもたちの笑顔が私たちの活動の原動力であることを活動後の振り返りで確認することができた。

・今回の活動を通して、学生は、地域の方々の子育て支援に関する取り組みや、大学に寄せる期待を知り、学びを深め、子ども達にもっと楽しんでもらえるよう意欲を燃やしていた。また、今後は、子ども向けのイベントの参加だけでなく、企画にも参加し、SNS や YouTube など学生ならではの目線、かつ個人情報保護などの観点も視野に入れつつ、地域団体と連携を図っていきたいと考える。

※ 報告書の内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします。

